



仙台国際音楽コンクールニュース

コンチェルト

Concerto



ピアノ部門：2019.5.25（土）～6.9（日）
ヴァイオリン部門：2019.6.15（土）～6.30（日）

（2019.6.20 発行 第7回コンクール関連 第6号）

本選インタビュー特集

コンクール出場者に聞いてみました!! ヴァイオリン部門編

- ①このコンクールを受けようと思ったきっかけは何ですか？
- ②音楽以外に興味があることは何ですか？
- ③ファイナルで選んだ協奏曲は何ですか？選んだ理由は？

29 フェリシタス・シフナーさん ドイツ 1997年生

① ギドン・クレーメルさんのファンで、彼の音楽がとても魅力的で、大好きです。クレーメルさんが審査委員をされていることが、このコンクールを選んだ理由です。日本に来たのは初めてですが、いいところですね。とても楽しんでいます。



- ② アートが好きです。友達に絵を描いて送ってくれるのですが、それがいつも楽しみです。あとはスポーツもします。
- ③ シベリウスを選びました。とても素晴らしい作品で、本当に好きです。選んだ理由は「好き」に尽きます。

12 コー・ドンフィさん 韓国 1997年生

① 国際コンクールに出てみたかったので。ソウルに住んでいるので、隣国のコンクールでもありますし、仙台は素晴らしい演奏家を沢山輩出しているので、出てみようと思いました。



- ② 作ったり、直したりすることが好きで、ヴァイオリン、自転車、車もちょっとしたことなら自分で直してしまいます。折り紙も好きです。
- ③ シベリウスを選びました。心に迫るような暗い感じに共感しています。自分の心のままに弾き、表現してみたいです。

16 リョウ・シンウェンさん 中国 2006年生

① 最初、先生から大阪のコンクールに出ることを勧められたのですが、理由があって出場できませんでした。母が仕事でたびたび東京にいるので、一緒に行きあげから仙台のコンクールを受けてみたらと言われ、それがきっかけで、このコンクールに挑戦しようと思いました。仙台に来ることができて嬉しいです。

② 専門ではありませんが、ピアノを弾くのが好きです。ジャズもよく聴きます。音楽以外は、バスケットボール、読書でしょうか。歌うのも好きです。

③ バガニーニの1番です。小さいころから知っていて、9～10歳の時から弾いていました。個人で演奏会を開いたことがあり、その時も一通り弾きました。選択曲はたくさんありましたが、準備する時間も限られていたので、慣れているこの曲を選びました。



18 チャーリー・ラヴェル＝ジョーンズさん

イギリス 1999年生

① 国際コンクールに参加することを先生に相談したら、仙台を強く推してくれました。このコンクールは有名で、協奏曲に焦点を当てた形式、オーケストラと多く共演できることが勧められた点です。日本は初めてですが、ここはローケーションも課題曲も運営も素晴らしい。先生の勧めで受けた6つのコンクールの中で、最高だと思っています。



- ② オックスフォード大学で、音楽学の課程も取っていて、学ぶのが楽しいです。大学では、アカペラグループで活動しています。あと演劇やミュージカルにも出演しています。読書やフェンシング観戦も好きです。
- ③ チャイコフスキーです。感情に満ち、素晴らしいメロディーにあふれていて、年齢や経験を問わず、誰でも共感できる曲だと思います。私自身も大好きで、相性が良い曲なので、演奏を通して自分自身を表現してみたいです。

35 ジェームズ・ケンドール・トンプソンさん

アメリカ 1993年生

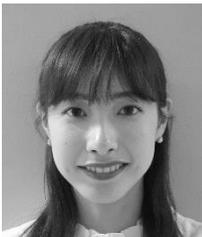
① 私の先生であるクリーヴランド音楽院のラレード先生に勧められました。アメリカのヴァイオリニスト達から、どのラウンドもオーケストラと共演できるユニークなコンクールと聞きまして、アジアに行くのも初めてでしたので、参加を決めました。



- ② チェスをするのと、ハイキングが好きです。あいにく、仙台は梅雨の季節ですが、周辺を歩いています。
- ③ バガニーニの1番を選びました。長いことこの曲に取り組んでいて、指がなじんでいること。そして、この曲が華々しいテクニックと美しいメロディーに満ちあふれていて、挑戦しがいがあると思ったからです。

1 荒井 里桜さん 日本 1999 年生

- ① 恩師の堀先生の勧めで申しました。先生からはアフターケアがしっかりしていること、コンチェルトも課題に含まれており経験が積めるということでした。日本音楽コンクール終了の一週間後が SIMC の締め切りで、課題曲 5 曲を必死で練習しました！
- ② 身体を動かすことが好きで、テニス部に所属しています。
- ③ 日本音楽コンクールの本選でブラームスを演奏して良い結果を得られたこともあります。ブラームスは大好きな曲なので、この曲で SIMC にと臨もうと思いました。さらに好きだから楽しんで弾けると思いましたので。



24 アンドレア・オビソさん イタリア 1994 年生

- ① 日本がとても好きで、何度も来ています。日本で、そして仙台でこれからもずっと自分の演奏を皆様に聴いてもらいたい。そのために、このコンクールへの参加を決めました。
- ② ワインと本をバックバックに詰めて、故郷であるシチリア島の小さい村々をバイクで巡って、そのミニドキュメンタリーを制作中です。卓球も好きです。
- ③ シベリウスです。20世紀の間、この曲がどう演奏されてきたか、はっきりさせたいと感じてきました。この曲はこれまで、あまりにロマンテックに演奏されてきたのではないのでしょうか。スコアを精査してオーケストラパートを理解し、ソロをオーケストラにフィットさせ、美しいコンビネーションをいかに生み出すか。難しい課題ですが、このコンクールでそれに挑みたいと思います。



32 グリゴリー・タダエフさん ロシア 1992 年生

- ① 1 年前、出場しようと決めました。とてもレベルの高いコンクールで、これまで素晴らしい方々が出場していて世界的評価もとても高いコンクールなので。
- ② 生まれはサンクトペテルブルクですが、元元カカス系なので、男性は皆スポーツマン。私もレスリングをやっていますが、16歳頃からヴァイオリンに時間を使いたくて、今はもうレスリングはしていません。スポーツは今でも好きです。
- ③ モスクワやサンクトペテルブルクで音楽を学ぶ者は皆、チャイコフスキーはよく勉強します。とても美しい作品で、私はこの曲に込められているものを表現できる、心を重ねることができると思い、迷わず選びました。



5 イザベル・アイ・デューレンバーガーさん

アメリカ 1998 年生

- ① 仙台のコンクールはとても有名なことと、私は日本のクウォーターで、日本に行ってみたかったことが理由です。また外国の規模の大きいコンクールに挑戦する時期だと思っていたことも理由です。
- ② 読書が好きで、特にフィクションの本を読むことが好きです。1930年代あたりの映画や音楽に興味を持っていて、『ダウントン・アビー』のようなテレビドラマも好きです。
- ③ ブラームスです。ブラームスのコンチェルトは最もシンフォニックなヴァイオリンコンチェルトの一つだと思います。コンクールで規模の大きいフルオーケストラと演奏できるいい機会だと思ったからです。



14 リー・チーさん 台湾 1992 年生

- ① このコンクールは一般的によく知られていますね。また、運営もとても素晴らしいと思います。私の先生は日本人（五嶋みどり氏）なので、日本のコンクールで良い成績を出したと思い、応募しました。
- ② スポーツが好きで、特にバスケットボールが好きです。しかし、ヴァイオリニストは指が命なので、あまりできないのが残念です。また、水泳、エクササイズも好きですし、ハイキングにもよく出かけます。
- ③ チャイコフスキーです。この曲はオーケストラと演奏すると、とても美しく表現できます。特に第1楽章のメロウな（表現豊かで柔らかな）旋律が好きで、ファイナルの舞台上、全力で演奏してみたいと思います。



31 オレスト・スモヴシさん ウクライナ 1991 年生

- ① このコンクールはとても良い評判だと聞いていましたし、予選からオーケストラと共演できるのが理由です。演奏してみても、このホールもとても素晴らしいと思いました。
- ② 旅行が大好きで、音楽を通じて、いろいろな国の文化を知ることに関心があります。食べることも好きです（笑）。
- ③ チャイコフスキーです。10年前に、この曲を弾いたことがあります。それ以降、全く演奏の機会がありませんでしたが、今年になって突然弾きたくなりました。



15 シャノン・リーさん アメリカ/カナダ 1992 年生

- ① 最初、先生からこのコンクールの話をうかがい、課題曲を見て興味を持ったからです。また、一度も日本を訪れたことがなかったので、行ってみたいと思いました。日本が好きです。
- ② 楽しみながら、よく泳いでいます。うまくはないですけど（笑）。旅行もたくさんしています。これらは私の音楽の一部になっていると思います。あと、日本の食券機が素敵で、私にとっては、新鮮で刺激的です。
- ③ チャイコフスキーを選びました。ちょうど、この前のブリュッセルのコンクールで演奏したからです。このコンクールは要求されていることが全く違ったので、できれば重複した曲を入れたかったです。私はこのコンチェルトが大好きで、10代で初めてオーケストラと共演した時、とても興奮した記憶があります。また、このような経験ができることが、とても嬉しいです。



発行：第7回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ：仙台市市民文化事業団 音楽振興課（仙台国際音楽コンクール事務局）

TEL: 022-727-1872 / e-mail: info@simc.jp URL: <https://www.simc.jp/>